

知っていますか？“結核”のこと

～結核を正しく知ることが予防への第一歩～



結核の症状は？

～2週間以上せきが続くなら医療機関へ～

結核の初期症状は風邪とよく似ています。

風邪ならば1週間程度で症状が改善しますが、2週間たっても、せきが続くようなら結核を疑って、早めに医療機関を受診することが重要です。

進行すると菌が出ることになり、菌の排出を放置すれば、周囲に感染が広がってしまうことになります。

あなただけでなく、家族や友人等、大切な人につつさないためにも、気になる症状が続いたら放っておかずすぐ受診してください。なお、高齢者は症状が出にくい場合がありますが発見が遅くなることもありますので、注意が必要です。

<こんな症状が2週間以上続いたら迷わず医療機関へ受診しましょう>

☆せきが2週間以上続く ☆タンが出る ☆急に体重が減る ☆体がだるい



予防できるの？

～日頃から健康生活を。早期発見が決め手です。～

結核の予防には、普段から健康的な生活を心がけ、免疫力を高めておくことです。(十分に睡眠をとる。適度に運動する。バランスの摂れた食事を摂る。タバコは吸わない。)

<日頃から規則正しい生活を心がけましょう>

☆バランスのとれた食事を摂る ☆睡眠時間を十分にとる ☆適度に運動する



—赤ちゃんにはBCG接種を—

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく生命を危うくすることすらあります。

予防するためにはBCG接種が有効ですので、生後1年以内に接種しましょう。

(標準的な接種期間は、生後5ヵ月から8ヵ月です。)



—年1回は健診を受けましょう—

年1回は健診を受けましょう。健診を受けることで結核を早く見つけることができます。

特に、学校や塾の先生、医師や介護老人施設などで働く職業の方は、自覚を持ち定期健診をしっかり受けることが大切です。

○受診義務

- ・高等学校以上の学校(専門学校、各種学校を含む)に入学する方は、入学年度に一度胸部エックス線検査を受けてください。
- ・65歳以上の方は、年1回は胸部エックス線検査を受けてください。
- ・学校、医療機関、社会福祉施設、介護老人保健施設で働く方は、年1回胸部エックス線検査を受けてください。



治療法

～薬を飲めば治る病気です～

6～9ヵ月ほど毎日きちんと薬(抗結核薬)をのめば結核は治る病気です。

ただし、薬の服薬を途中で止めてしまうと、薬に対する抵抗力のある結核菌(耐性菌)をつくってしまい、薬(抗結核薬)が効かなくなってしまいます。こうなると本人ばかりではなく周囲の人にとっても非常に危険です。

